

※ 外部意見の反映

## 幕別町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検

### 及び評価の報告書に対する主な意見

本報告書を作成するにあたり、点検及び評価の客観性を確保する観点から、知見の活用として町長部局の部長職等から聴取した主な意見は次のとおりである。

- 報告書の中に児童生徒の活動の様子などの写真を盛り込んではいかがいか。
- 一般住民の意見をお聞きする方法を検討いただきたい。
- 整理番号 21「小中学校教育の充実」、「学校運営協議会」についてですが、今後の課題に小中一貫教育の導入に併せ、コミュニティスクールの導入検討についての記載があっても良いと考えます。
- 整理番号 23「まくべつ教育の日」について、現状と成果に、のぼりの作成によるPRによる周知を図った旨の記載があっても良いと考えます。(ノーTVデーの記載もあっても良いかと思えます。)
- 小中一貫教育、コミュニティスクール、高校一本化など、教育行政においても、子どもたち、地域の人々にとっても大きく変わってくることが予想されるが、学校は地域のものであり、地域の子どもは地域で育てるという意識を住民が共有することが必要と考えます。

また、小中一貫から中高接続、もしくは北海道科学大学との高大接続、コミュニティスクールによる地域キャリア教育やふるさと教育など、教育環境の変化は大きなチャンスでもあると考えます。

幕別町として、幼・小・中・高を通しての教育目標の柱を決めて、一貫した教育が行えるような、包括的・横断的な教育計画を策定していただくことを望みます。
- 費用対効果の視点など、より多角的な評価が可能となると思しますので、「施策に要した費用」の項目を追加してはいかがいか。
- 現在の評価指標には、目指すべき目標値や到達点がないように見受けられるため、結果が良いのか悪いのか判断が困難であると感じます。

目標値の到達点があると、比較ができて評価しやすいと思います。

(例) ~の充実、~の実施、数値実績など、⇒どの程度までの取り組みを目指しているのか不明朗
- 今後の課題にて課題とした理由の説明が不足している箇所が散見されますので、課題とした理由や背景をもう少し丁寧に記載することで理解が深まると感じました。

(例) P11. ~研修先との調整が必要である。⇒なぜだろう？どのような調整だろう？

- 今後の対応にて、課題を受けた対応になっていない箇所が散見されますので、課題解決に向けた対応策である方が望ましいと思います。
  - (例) P12. (今後の課題) 高校生の研修生の確保が必要。
    - (今後の対応) ~受入れを行っており、新たな繋がりも生まれてきている。
    - ⇒成果を記載している？高校生確保に向けた対策は？
  
- 国際交流について、私の経験では、実施後に成果や課題について追跡調査することがたいせつであると考えます。
  - 例えば「交流後の家族や友達との交流があるのか無いのか」「幕別町との気候・風土・文化や生活様式の違いに関し、新たな認識が感じられるか」「事前学習が適切であったか」など、児童生徒の認識を調査し、今後に生かしていくことができているのかについて評価してはどうか。
  
- 生涯学習について、生涯学習社会が成熟するに従い、運営についての苦情や、人間関係の苦情が予想されるため、生涯学習推進委員や社会教育主事との日常的な交流が一層必要になると考えられる。
  
- まくべつ教育の日について、幕別町で実施宣言後、道内各地で実施する市町村が増えてきたが、近年その増え方が鈍化してきている。
  - その要因は様々考えられるが、その一つに「地域の学校」としての学校の存在が地域の人々の意識から遠のいているように感じられるため、地域の人に学校に対する関心を持ってもらうためにも、学校側の地域への関わりを探っていく必要がある。
  - 例えば、地域の総会などに学校側が積極的に出席するなど、学校との連携を探っていくことが必要なのではないかと考える。
  - 本町で各学校共に学校便り等で地域の教育の日について告知されており、評価されるが双方向の取り組みがあれば、より地域に開かれた学校教育が実施できると考えられる。